



10月下旬、岩木山の頂には、うすうすと初雪が降りました。
山々の木々も色づきはじめ、晩秋の気配が感じられる季節となりました。
朝の気温は一桁台まで下がり、これから頑張ってきた葉っぱたちも、そろそろ役目を終えようとしています。
夏の強い日差しをたっぷり浴び、そして今は青森らしい冷たい秋風に吹かれながら、りんごたちはぐんぐんと美味さを蓄えています。
今年のりんごは少し小ぶりではありますが、その分ぎゅっと甘みが詰まっているように感じます。
これから元気に育ってくれたりんごたち、そして無事に収穫を迎えられることにこれから感謝の気持ちです。

りんご農家の11月

りんご農家にとって1番忙しい11月。
園地に行くと次々と収穫を待っているりんご達が沢山！
この時の為に管理を続けてきた木も重さに耐えながら最後の力を振り絞っています。

これだけの品種・数になると社員だけでは手が回りません。そこで多くのアルバイトさんや車・機械の力を借りながら、チーム一丸となって1番美味しい瞬間を逃さず収穫しています。
合わせて13箇所の場所の違う園地、ハシゴの数がその忙しさを物語っています。 工藤



小さくても、大きくても一心を込めたりんごたち

収穫、発送など様々な事で1日があっという間に過ぎてしまうなあと感じる日々が続いています。

今年の夏は雨が少なく、秋に収穫を迎えるりんご達はあまり大きく成長しないかも……と心配していました。
でも収穫してみると小さなりんごもありますがビックリする程の大きなりんごもあります。
大きい小さいで味に違いはありません。
小さなりんごも大きなりんごも、心を込めてお届けします。ぜひ楽しんでくださいね！ 佐藤



りんごの木の生命力



今年は“熊”によるりんごへの被害がとても多いです。“熊”はりんごの木の枝を容赦なく折ってりんごを食ります。収穫目前のりんごの被害も厳しいですが、枝を折られることで来年、再来年に採れるはずだったりんごまでもパーになってしまうのが辛いです。

しかし、りんごの木自身もやられっぱなしではありません！！なんと折られた枝のすぐ近くから新しい枝になる芽が出ているではありませんか！！りんごの木の生命力&底力を感じます。
数年先、この新しい枝にまたりんごがいっぱいになるように大事にお世話したいと思います。 久米



青森りんご産地直送

大湯ファーム

〒036-8124 青森県弘前市石川字石川64

TEL : 0172-49-7890

FAX : 0172-55-0257

メール : info@ooyufarm.com

ホームページ : <http://ooyufarm.com>